

## バルク貯槽用マルチバルブ (CMBシリーズ) ガス取出し配管作業における注意点について

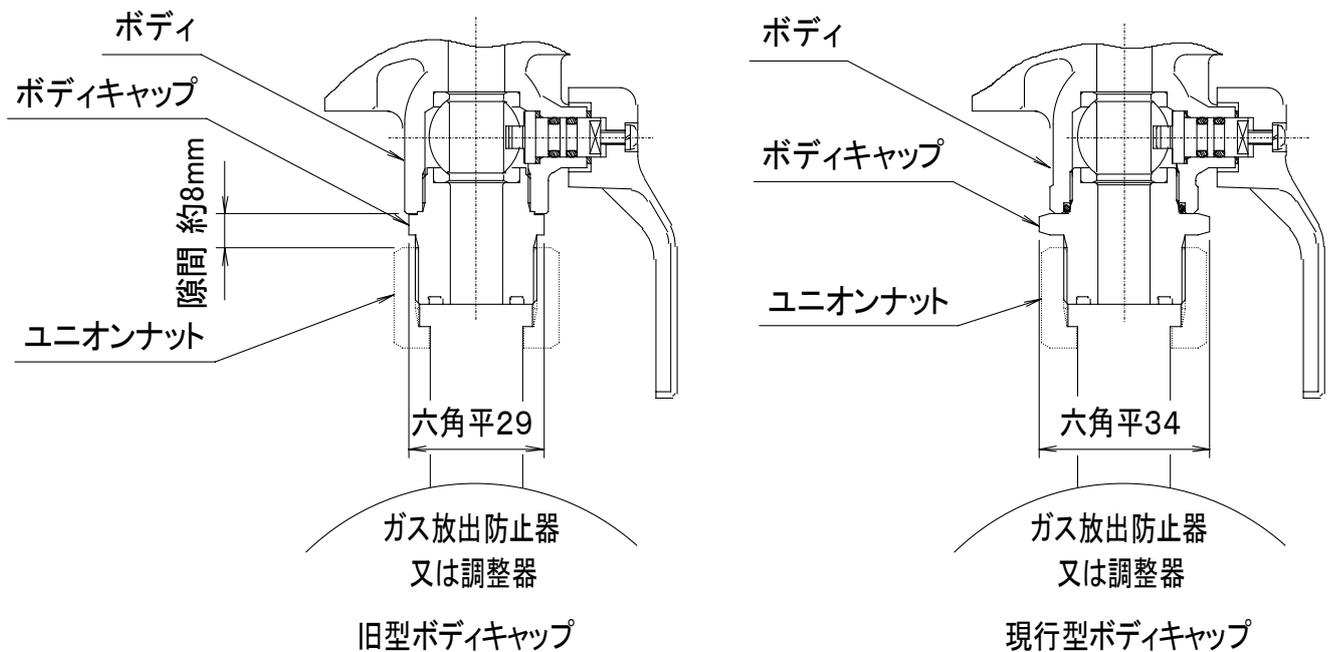
当社バルク貯槽用マルチバルブ (CMBシリーズ) のガス取出し部に調整器等の配管作業を行う際は、次の1～3項の内容に従い、ボディキャップを緩めない様に作業を行ってください。誤ってボディキャップが緩むとガスが漏洩する恐れがあります。

### 1. 作業前における注意点

CMBシリーズのボディキャップは旧型、現行型の2種類がございます。

旧型はボディキャップの六角寸法が現行型より小さく、ボディとユニオンナットの間隙が小さいため、標準のモンキレンチ、スパナでは固定出来ません。下図を参考に作業前にボディとユニオンナットの間隙に入る程度の薄口工具 (薄口モンキレンチ等) をご用意下さい。

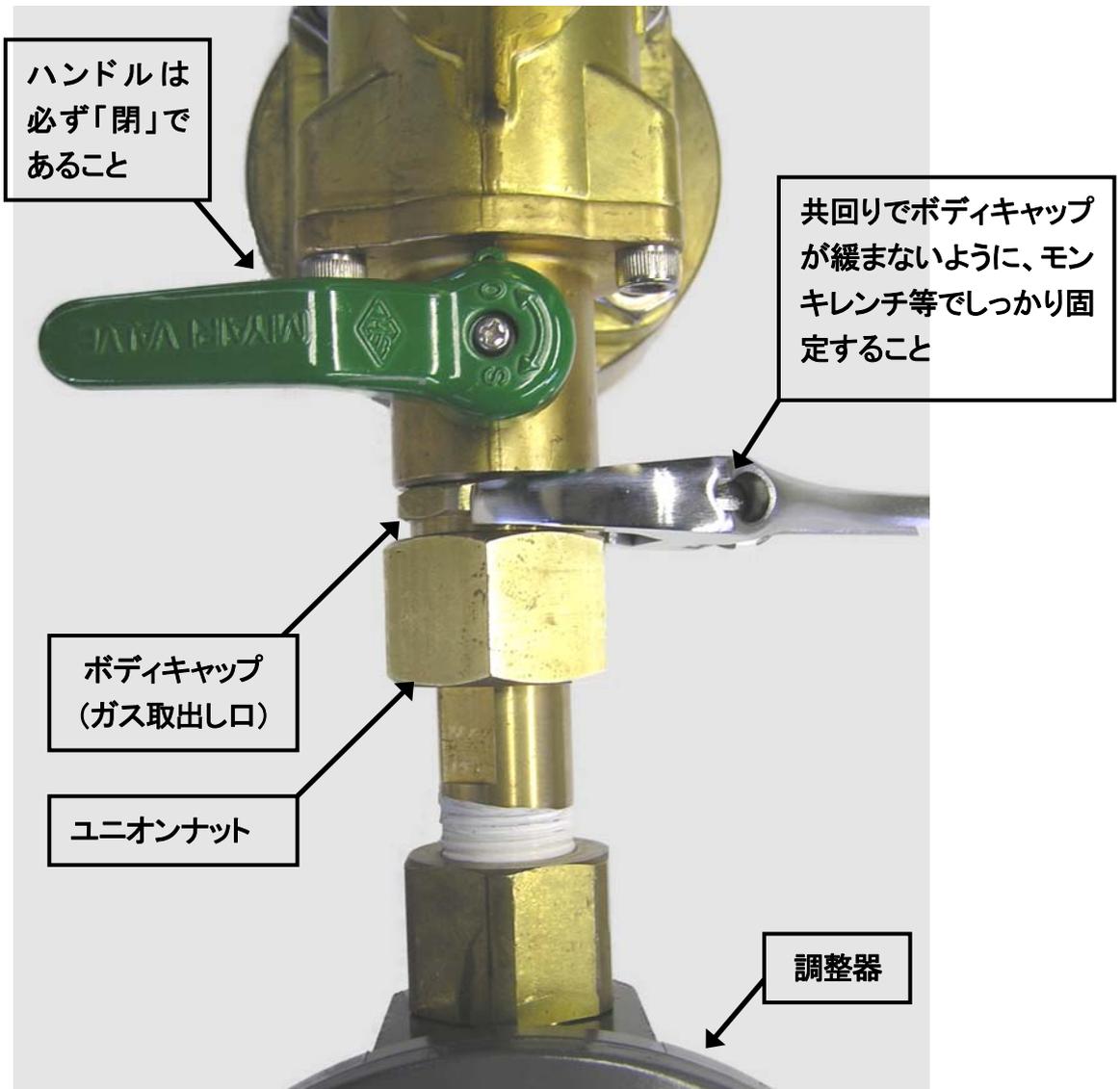
尚、現行型は標準のモンキレンチ、スパナで固定できます。



ボディキャップ	六角平寸法	用意する工具	工具の厚さ
旧型 (2003年4月以前製造)	29	薄口モンキレンチ等	5～7mm
現行型	34	標準のモンキレンチ等	標準厚さ

## 2. 配管作業時における注意点

- (1) 作業前にガス取出口のハンドルを必ず閉にしてください。
- (2) ガス取出口に調整器の取付け、取外し等の配管作業を行う際、必ずボディキャップをモンキレンチ等でしっかり固定し、緩まないようにしてください。  
共回りによりボディキャップが緩むとガスが漏洩する恐れがあります。



＜例＞ ガス取出口に調整器を取付け又は取り外しする場合

## 3. 他の配管例

どのような配管においても必ずボディキャップをモンキレンチ等で固定し、緩まないようにして下さい。  
共回りによりボディキャップが緩むとガスが漏洩する恐れがあります。

## 4. その他

調整器取付後、調整器の傾きを修正する場合は必ずユニオンナットを緩めて修正してください。  
ユニオンナットを締め付けた状態での傾き修正はボディキャップの緩み、及びガス漏れの原因となります。

以上